

I 教育目標	
<p>人間尊重の精神を基調とし、心身ともに健康で、豊かな人間性を身に付けた幼児の育成を目指して次の教育目標をおく。</p> <p>「よく遊び、ひびき合うこども」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○げんきにいっぱいあそぶこども ◎ともだちとなかよくするこども 	
II 経営方針	
目指す幼稚園像	<ul style="list-style-type: none"> ○幼児の発達や特性を踏まえ、一人一人のよさや可能性を伸ばす幼稚園 ○保護者同士がつながりながら、安心して子育てができる幼稚園 ○教職員が幼稚園教育の充実のために協働し、働き甲斐を感じる幼稚園 ○地域を愛し、地域に感謝し、地域から応援される幼稚園
目指す幼児像	<ul style="list-style-type: none"> ○心も体も十分に動かして元気に遊ぶこども ○自分で考えて行動するこども ○自分も友達も大切にすること ○豊かに感じ、感じたことを自分なりに表現するこども
目指す教師像	<ul style="list-style-type: none"> ○幼児一人一人に愛情を注ぎ、よさや可能性を伸ばせる教師 ○意欲的に学び、創意工夫しながら、他の教師と協働し、実践できる教師 ○教育公務員としての自覚と責任感をもつ教師
経営理念	<p style="text-align: center;"> ＼げんきいっぱい／ ＼みんななかよく／ 一人一人が かがやく！ だいごすなまちようちえん </p> <p>1 本園の使命</p> <p>「江東区こどもの権利に関する条例」に基づき、すべての幼児が自分らしく成長し、幼児・教師・保護者・地域がともに育ち合う、地域の中の就学前教育施設としての使命を果たす。</p> <p>2 教育活動で目指すもの</p> <p>幼児一人一人のよさと可能性を伸ばすとともに、自我が芽生え、自己を表出する幼児期に、同年齢の友達と関わり合う生活を通して、他者への思いやりや多様性を認め合う心を育む。</p> <p>幼稚園教育において育みたい資質・能力（「知識及び技能の基礎」「思考力・判断力・表現力等の基礎」「学びに向かう力・人間性等」）及び「こうとう学びスタンダード」を教育活動全体によって実現していく。</p> <p>3 将来像</p> <p>本園を含む区立幼稚園が核となり、幼児・保護者・教職員・地域の方等全ての人々が、「こどもをまんやかに」互いを尊重し、共に学び、「みんな、かがやく！」幼稚園になる。</p>

Ⅲ 経営目標

重点領域 1		健康でたくましい心と体の育成
中期経営目標	健康で安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、心と体を十分に動かして遊ぶ幼児を育てる。	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な生活習慣を確立し、健康で安全な生活を自ら考えられる幼児の育成 ・ おなかをすかせて食べる喜びを感じられる幼児の育成 ・ 危機に対する意識を高め、自己をコントロールしながら安全に生活する幼児の育成 	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	幼児が主体的に生活に必要なことを（排泄・身支度・手洗いうがい・片付けなど）進んでできるように、絵や文字を使った表示を付けるなどの環境の構成の工夫、一人一人に応じた指導をする。	保護者アンケートで「お子さんは4月に比べて、生活に必要なこと（排泄・身支度・手洗いうがい・片付けなど）自分のことは自分でできるようになった」の肯定的回答率を100%にする。
2	幼児の興味や関心、発達に応じた栽培活動を年2回実施し、収穫した野菜を食べる活動を通して食や健康に対する関心をもてるような指導の工夫をする。	保護者アンケートで「お子さんは4月に比べて幼稚園で育てた野菜に関心をもったり、苦手な食材も口にしたりするようになった」の肯定的回答率を100%にする。
3	幼児が安全で主体的に遊びや生活に取り組めるように、毎日、安全な環境を整える。また、危険につながる行動を幼児が自ら気付き、自己抑制できるような指導を工夫する。	保護者アンケートで「お子さんは4月に比べて安全な遊び方や緊急時の行動の仕方への意識が高まった」の肯定的回答率を100%にする。

重点領域2		思いや考えを素直に表し、互いを大切にする心の育成
中期経営目標	友達との関わりの中で他者の存在に気づき、思いやりや多様性を認め合う心を育む。	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ・教師との信頼関係を基盤に安心して園生活を送る。 ・自分の思いを動きや言葉で表し、相手の話に耳を傾ける態度を育む。 ・幼児同士で互いの思いを伝え合い、相手を思いやる心や多様性を認め合う心を育む。 	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	「江東区こどもの権利に関する条例」を踏まえ、幼児にとって最もよい保育を実践する。（毎日）	保護者アンケートで「幼稚園は一人一人を大切にした教育を推進している」の肯定的回答率を100%にする。
2	友達と関わる中で、自分の思いが伝わった喜びを味わうとともに、うまく伝わらなかったり、思いが行き違ったりするなどの葛藤体験をしている場面に寄り添う。（毎日）	【年少組】 自分の思いを先生に伝えようとする幼児を100%にする。
		【年中組】 自分の思いを言葉で表現できる幼児を100%にする。
		【年長組】 自分と友達は違う思いをもっていることに気付く幼児を100%にする
3	幼児同士、互いのよさや頑張りが見えたり、友達とのつながりが感じたりできるような学級活動を月1回以上行う。	友達と過ごす楽しさを感じる幼児を100%にする。

重点領域 3		人や自然との関わりを通して、豊かに感じる心の育成	
中期経営目標		人や自然とのかかわりを通して、豊かに感じたり表現したりできる幼児を育てる。	
短期経営目標		<ul style="list-style-type: none"> ・わくわくする体験を通して、気付いたり工夫したり試行錯誤することを繰り返して遊び、好奇心や探究心を育む。 ・心が揺り動かされたことを表現したり、友達と一緒にしたりする過程を楽しみ、表現する喜びを育む。 ・地域の教育力を活かした活動を実施し、幼児が様々な人との関わりを通して、地域への関心を高める。 	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）	
1	幼児の興味や関心に応じた環境をデザインし、探究活動を実践する。（「とうきょうすくわくプログラム」）	4月から比べ、夢中になって遊んだり、教師や友達の見方・考え方を取り入れて遊んだりする幼児を100%にする。	
2	幼児が心を揺り動かされたことを様々な方法で表現できる環境の工夫をする。	感じたり、気付いたりしたことを、自分なりに表現する幼児を100%にする。	
3	保護者参加参観や地域の図書館、郵便局、地域の講師（ハッピークラブさんとの盆踊りの会、英語で遊ぼう等）との活動を通して、様々な人との関わりを大切に活動を実施する。	保護者アンケートで「お子さんは4月に比べて、自分から挨拶や返事をしたり、ありがとうと言えたりするようになった」の肯定的回答率を100%にする。	

重点領域 4		開かれた幼稚園づくり	
中期経営目標		保護者や地域との連携を深め、ともにある幼稚園づくりを推進する。	
短期経営目標		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域に幼児の育ちや幼稚園教育を分かりやすく発信する。 ・保護者の幼稚園が連携し、幼児のよさと可能性を伸ばす。 ・未就園児親子登園「かんがるーひろば」、こども誰でも通園制度の充実を図り、子育て支援のセンター的役割を担う。 	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）	
1	保護者や地域にこどもの育ちや教育内容が伝わるように、園だより毎月1回、保護者会年3回、評議員会年3回開催、教育活動期間中のホームページ更新毎日、学級だより年3回以上発行し、発信する。	保護者アンケートで「幼児の育ちや幼稚園教育が見える」という肯定的回答率を100%にする。	
2	幼児一人一人の成長を保護者と「ともに」支えていくために、すぐるアプリを活用した個人面談を行う。	保護者アンケートで「個人面談は我が子の成長を振り返る機会になっている」の肯定的回答率を100%にする。	
3	0歳～就園前の幼児を対象にした未就園児親子登園かんがるーひろば、こども誰でも通園制度を実施し、地域の子育てのセンターとしての役割を果たし、本園の教育をつないでいく。	本園の入園につながった新入園児を70%にする。	

重点領域5		教師の指導力向上	
中期経営目標		幼児一人一人に愛情を注ぎ、よさや可能性を伸ばし、就学前教育の充実を図る。	
短期経営目標		<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児一人一人のよさや可能性を伸ばし、自己肯定感を育む教育の推進 ・ 幼稚園教育要領を踏まえた「就学前教育スタンダード」に基づき、3年間の発達の見通しをもった教育活動を実践し、園全体の教育力を高める。 ・ 江東区連携教育の日等を活用し、幼児期及び幼保小接続の教育の質的向上を図る。 	
項目	努力指標（教師側）		成果指標（こども側）
1	研究保育や事例検討を通して、学びの連続性を踏まえた探究心を育む環境の構成や教師の援助を探り、江東区教育委員会研究協力園として、研究発表、公開保育を行う。		保護者アンケートで「教員の資質向上のための研究は、こどもたちの成長につながっている」の肯定的回答率を100%にする。
2	3年間の発達の見通しをもち、幼稚園教育要領や就学前教育スタンダードを念頭に置いた保育を実践するために、毎月1回、中期指導計画検討（月案会議）を行い、園全体の教育力を高める。		保護者アンケートで「こどもたちの成長を実感できた」の肯定的回答率を100%にする。
3	江東区連携教育の日等を活用し、「就学前教育スタンダード（幼児期に必ず体験する内容）」が小学校以降の教育につながっていくことを幼稚園の保育実践を通して、小学校・中学校の教員に伝え、架け橋期の教育の理解を図る。		保護者アンケートで「幼稚園教育の学びは小学校以降の学びにつながる事が分かる」の肯定的回答率を100%にする。